

## 婦人科よくある質問



Q, 月経中でも診察できますか？

A, できます。ただし、同日に子宮がん検査を施行することが難しいことがあります。

Q, 必ず内診しますか？

A, 性交経験のない場合にはできるだけ内診検査を行わないようにしています。おなかの上から超音波で子宮や卵巣の状態を見ることもできます。この場合には膀胱に尿がたくさんたまっている方が見えやすいので、排尿せずに診察を受けるようにお願いします。

腹痛が強い場合などで腹部超音波検査では診察が不十分と思われる場合には、肛門から超音波検査を行うことがあります。通常は経腔で用いるものですので、そんなに大きいものではありません。力を抜いて検査を受けてもらえれば、少しの痛みで検査ができます。



Q, 月経日をずらしたいのですが、処方してもらえますか？

A, 可能です。診察、処方を含めてすべて自費診療になります。

### 月経移動について

- 月経移動には早める方法と遅らせる方法がありますが、早める方法では期待通りに出血がコントロールできない可能性が高いため、当クリニックでは遅らせる方法を推奨しています。
- 予定月経日の3～7日前から服用を開始します。
- 月経移動は100%予定通りに変更できるものではありません。時には不正出血が認められたりすることがあることをご理解、ご了承の上、ご購入を検討してください。
- 診察を含めてすべて自費診療となります。(3500～5000円程度、内服日数によって異なります)

Q, 妊娠しているかどうかの検査を受けることができますか？

A, 腹痛や異常出血などがあって、医療上必要と考えられる場合には当院で検査を行います。妊娠のみの判定検査はできません。妊娠している方の診察は受け付けていませんので、ご自身で妊娠検査を受けることをお勧めします。



Q, 緊急避妊薬(アフターピル)を処方してもらいたいのですが、

A, 対応していません。産科を併設しておらず、婦人科診療日が週2日と限られているためです。

Q, 避妊用のピルの処方をしていますか？

A, 対応しています。ただし、診察、処方を含めてすべて自費診療になります。

Q, 不妊診療はできますか？妊婦健診はできますか？

A, できません。

Q, 婦人科受診に年齢制限はありますか？

A, ありません。

Q, 性病検査ができますか？

A, できます。ただし、特に自覚症状のない方については自費診療になる可能性があります。

地域の保健所でも匿名で性病検査を受けられると思いますので、希望のある方はご自身で問い合わせてください。

Q, 子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)を打てますか？

A, シルガード9を採用しています。公費負担の方の接種も受け付けています。

必ず1週間以上前に予約してから受診してください。



Q, 乳腺のしこりが気になるのですが、診察を受けられますか？

A, 当院では乳がん検診は行っていますが、乳腺に関する症状のある方の診察は受け付けていません。

気になる症状のある方は、他院乳腺科を受診するようにお願いいたします。

Q, 乳がん検診ではマンモグラフィと乳腺超音波検査のどちらを受けるのが良いですか？

A, 検診としての有効性が確立しているのは、マンモグラフィ検査です。ただし、乳腺量の多い方(高濃度乳房=マンモグラフィで乳房全体が白っぽく写る)では乳がんが乳腺に隠れてしまい、検出率が低くなります。

このような理由で、20-30歳代などの若い方は乳腺超音波検査の方が望ましいかもしれません。

可能であれば、両方の検査を組み合わせることをお勧めします。

Q, オンライン診療について教えてください。

A, 婦人科では症状の落ち着いている方などの再診に限り、オンラインでの診察を行っています。

最後までお読みいただき  
ありがとうございます♡

